

第55回 戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典

心をひとつに世界の平和を祈願



教団別礼拝で解脱会を代表し、先頭に立つ岡野青年本部長(14日)



16万羽の折鶴が六角堂を彩る(22日)



御霊地浄炎場にて、折鶴のお焚き上げ(22日)

終戦記念日を翌日に控えた8月14日、本会が加盟する新日本宗教青年会連盟主催の第55回戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典(8.14式典)が、東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて開催された。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小し、各教団代表者が参加した。本会からは、岡野孝行青年本部長が参列した。

式典は、午後6時に開式。まずは、宮本泰克新日本宗教青年会連盟委員長の主催者挨拶に続いて、新宗連を代表して岡田光央理事長(佐原透修新宗連事務局長代読)が挨拶された。

教団別礼拝では、岡野青年本部長が先頭に立ち、祈願文、三綱五常報恩を念唱

した。また、インターネットを通してライブ配信され、画面を通じて式典に合わせ各加盟教団全国の会員が平和を祈願した。その後、パーフェクトリパティエ教団の道端直さんが平和のメッセージを青年を代表して発表。平和を祈願して代表者全員が1分間の黙祷の後、献花へと続き、午後7時閉式となった。

翌週の8月22日には、本会の岡野青年本部長はじめ青年本部役員8名が千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて特別に慰霊式典を行った。

当日は、新型コロナウイルスの影響で他県への移動が制限され、現地参加ができなかった青年本部役員は、オンラインでの参加となった。

8.14式典が規模縮小のため、お捧げできなかった全国各支部から集められた16万羽の折鶴が会場に飾られた。

式典は、献納、献花、献鶴の後、御靈魂に捧げる言葉を松谷英孝東京ブロック議長が述べた。その後、戦争犠牲者の御靈魂に特別供養塔による天茶供養を捧げ、国のために命を落とされた英霊を偲ぶと共に、改めて世界平和を祈念した。続いて、山崎文夫千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会理事長よりご挨拶を頂いた。

式典終了後は、御霊地へ移動し、新宗連事務局立ち会いのもと、折鶴のお焚き上げが浄炎場にて行われた。

これで8.14式典の行事一切が締めくくられた。

黒姫出張所・天茶法薬加持の儀

作業の安全を祈願

長野県黒姫高原の爽やかな風が吹く中、8月20日、黒姫出張所において天茶法薬加持の儀及び工場火入れ式が執り行われた。

今回は、新型コロナウイルス感染防止のため岡野英夫理事長はじめ本部役員

のみで式典の一切が催行された。

正午、黒姫工場2階御神前にて岡野理事長が導師となり、天茶法薬加持の儀が行われた=写真。

続いて、第1作業棟にて火入れの儀と天茶の撒き供養が行われ、作業の安全が祈願された。恒例となる直会は、コロナ禍のため中止となったが、例年と変わらず黒姫の広大な自然の中で良質な天茶が栽培され、各家庭に届けられる。



米国解脱教会・秋季大祭

秋季大祭をオンラインで公開

コロナの猛威が収まらない米国カリフォルニア州に拠点をおく米国解脱教会では、「You Tube」を利用したオンラインでの秋季大祭動画を当初の開催予定日だった9月6日に公開した。

感染者が非常に多いカリフォルニア州の都市部では教会活動なども大幅に制限をされており、室内では10名以上が集まる行事は開催できず、また室外においてもソーシャルディスタンスの維持など制約も多い。そのため、会員が一同に会する従来の形ではなく、開教師や数名の役員のみでの行事を8月30日に開催し、その動画を会員に見てもらおう形となった。

当日は少人数でお給仕などの準備が整えられ、第1部大祭式典を五智聖堂内で行った。通常通り拝礼行事、み声拝聴、萬霊大供養を行った後、岡野英夫総長の記念講話動画を上映。

第2部解脱霊廟祭祀の儀では新たに4霊の霊魂が祀られた。

第3部柴燈護摩の儀では、新型コロナウイルス感染症や全米で抗議活動が広がっている黒人差別問題などに関連した特別護摩木を捧げ、全世界の平和を祈った。

公開された動画を見た会員からは「この厳しい状況下においても開催されたことに感謝」といった御礼や、足が悪いな



どで長年大祭に参列できなかった会員からの喜びのメールなどが多く届いた。また、大祭当日は、サクラメントで43°Cを越す記録的な猛暑となり「守られたと感じる」と話す会員も印象的だった。

現在も岡野総長の記念講話をはじめとする大祭行事の動画はYouTubeで公開されているので、ぜひ「Gedatsu Church USA」と検索してご覧いただきたい。

仲介者養成コース

支部に貢献できる仲介者に

8月29日、仲介者養成コースが1日研修の形で御霊地・解脱研修センターにて開催され、16名が参加した。

今回は新型コロナウイルス感染防止のため、マスクやフェイスシールドの着用、手指の消毒、三密を避けるなどの対策をとっての開催となった。

午前10時、大賀光夫修法部長の開講挨拶に始まり、続いて、岡野英夫理事長

が「み教えの在り方」をテーマに教えの根本にふれつつ、「仲介者は霊魂と修業者の間を取り持つ役割があり、両方からの信頼がなかったら幸福に導くことができない。双方の信頼を得るためには金剛さまへの絶対の感謝と実践行が重要となる」と仲介者の役目を担う心構えなどについて具体的に述べられた。

その後、お浄めと進み、6班に分かれ



ての実修が行われた。参加者は交代で仲介者の研鑽を深めた。

最後に、倉田正治常任理事から「支部で仲介者としてお使いいただく」と題する講話で学んだ。参加者たちは、更なる向上と教区や支部での実践を誓い合った。

小樽中央支部・創立60周年記念感謝会

前支部長へ感謝の墓参りも



小樽中央支部では8月4日、創立60周年記念感謝会を開催した。感謝会に先立ち、昭和35年の支部設立以来、初代の岩城庄蔵支部長と共に同支部の基礎を作った故・播磨房枝前支部長の墓前にて支部会員が揃って感謝の供養を捧げた。

記念感謝会は、熊谷詔夫支部長のお孫さんたちが飾り付けた温かな雰囲気の中で開催。特別参加の神戸中央支部会員の舟橋博氏が祝辞を述べ、60年間を振り返る動画上映では、支部会員が思い出を語り合いながら支部の有り難さを再確認した。

挨拶に立った熊谷支部長は、播磨前支部長の墓参りができた感謝と今後も感謝会の際には皆でお参りさせてもらいたい旨を涙ながらに述べた。

直会では、熊谷支部長の一家による手作り料理に舌鼓を打ちながら和気あいあいとした中で、更なる飛躍を誓い合った。

函館杉並支部・創立60年記念式典

多くの支え、お蔭様に感謝!

函館杉並支部では8月9日、創立60年記念式典を開催した。今年4月に60年の節目を迎えていた当支部だが、新型コロナウイルス感染症の影響により式典を延期していた。それから4ヵ月、支部会員にとって心待ちにした日となった。



会場は会員たちによって整えられ、式典には支部会員代表が参列。式典は、車康平支部長の感謝と誓いの文奏上など厳粛に進められた。

挨拶に立った車支部長は、昭和35年4月の設立以来の支部の歴史を振り返り、青森弘前南支部との縁をはじめとする現在までの道筋には、本部指導員をはじめ、教区内外の支部長や会員など多くの支えがあることに触れながら、当支部の歴代支部長や支部会員の尽力へ感謝の言葉を述べ、改めて支部の更なる躍進を参加者と共に誓った。

苫小牧支部・創立60周年記念式典

会員一同が真心を結集して

苫小牧支部では8月19日午後1時より、支部創立60周年記念式典を行った。当支部は今年4月に創立60年を迎えていたが新型コロナウイルスの影響で延期となり、この日の式典を会員一同は心待ちにしていた。

記念式典では、お祝いに駆け付けた北海道々南教区の車康平教区長による記念講話、さらに木村照王支部長が、初代の

木村武治支部長によって昭和35年4月に設立されてから現在までの支部の歴史を振り返り、支部の発展のために尽力されてきた先覚者への感謝と更なる発展に向けて精進する誓いの言葉を述べた。また、教区担当の井上公郎指導員のお祝いの言葉が紹介された。

最後に、木村支部長夫妻へ感謝をこめた花束と記念品が温かい拍手と共に支部



会員一同から贈られた。コロナ禍の中にも支部会員一同による細やかな配慮に満ちた和やかな記念式典を通して、支部会員たちはますますの支部の躍進に向けて志気を高めた。

コロナ禍の中、今できる形で支部行事を開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、支部感謝会や行事などが規模縮小や自粛となり、会員個人の学ぶ機会が減少する中、積極的に創意工夫して取り組んでいる支部の活動をご紹介します。

川西栄町支部では、刻々と変わる状況に対して臨機応変に対応している。支部青年部が新型コロナウイルス対応ガイドラインを作成し、会員へ共有した=画像右。緊急事態宣言発令中の4、5月は感謝会を中止し、辻一郎支部長が字幕付きメッセージ動画を配信。会員からは「支部長の元気な姿が私たちの活力になる」「支部の有り難さを改めて感じた」などの声が上がった。6月は午前、午後の2部制で10人の人数制限を設けて開催した。その際、マスク着用、アルコール消毒の徹底。また、物を通して感染するリスクをさげ、お浄めや天茶供養を中止し、飛沫感染防止として会歌斉唱を式次第から外した。7、8月は熱中症対策との共存が難しいため、密

集を避けて10時から16時まで支部を開けて自由参拝及び特別相談とした。

辻支部長は、「会員の健康と命を守ることを、そして行事開催ができるようになるまで繋がりを保てるよう、コミュニケーションを保持することを心がけています」と述べ、具体策として緊急事態宣言が発令された段階で自宅で行える行(朝夕の勤行、ご供養、氏神様参拝など)を全て詳細にリスト化し、会員へ伝えた。



東京の八王子支部では、親支部の南新宿支部の実例を参考に、オンラインを活用して工夫をこらしている。緊急事態宣言が発令された4月は「YouTube」で感謝会を配信、5月は「Zoom(パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングをオンラインで開催するために開発されたアプリ)」を使用。6月からは「YouTube」と「Zoom」の2つを使い、時間を短縮して開催した=写真下。また、高齢者や「Zoom」が使えない人のために、阿曾沼孝仁支部長は、IT業界に勤めている経験を活かして自ら手順書を作成し、解脱誌などと一緒に各家庭へ郵送した。さらに、不安のある方に関しては、感謝会の始まる前に電話で対応し、多くの会員が参加できるように工夫された。

三鷹連雀支部では、48年の長きに亘って発行を続けている支部報「あとらくと」を使い、各家庭で感謝会を行っている。それは「家庭を中心に学びを」との金剛さまのご指導を各家庭で行って欲しいという松田佳高支部長の思いによる。支部報には家庭感謝会の式次第、特別供養の作法などが丁寧に記されている=画像下。これを活用したのは、会員に覚えてもらいたいことは文字で伝えるのが最善であることを、自身が青年部時代に毎月作成する中で経験していたからだった。実際に行った家庭からは「自宅と支部の御神前が繋がっていることを感じた」と改めて支部への思いを篤くした感想があった。松田支部長は、「これまでの学び方は密になることが中心だったが、これからは密にならないことが重要で、密にならないとは御五法修業や個人勉強などにより家族や個人の力をつけること」と、今こうした学びが大切であると述べています。新型コロナウイルス感染症の終息が見通せず、今まで通りのことが実行できない中、各支部では工夫をこらし、今できることに懸命に取り組んでいる。

現在、支部は自粛しており、なかなか足運びができない中、阿曾沼支部長は会員の命を守ることを第一優先に活動。ただ、リモート配信のみだと、会員の教えに対する気持ちが薄れていくのを感じ、学びが止まらないように、まず会員と連絡を取り合い、積極的にコミュニケーションを図っている。



家庭感謝会 式次第(先月と同文)

- ・拝礼行事
- ・贈呈挨拶(家長または代表)
- ・解脱誌拝読(家長)
- ・参加者の一か月の出来事、感想など(全員)
- ・まとめ(家長・代表により感謝を伝える)
- ・総礼行事・特別供養
- ・(会員各家祖先代々の御精霊 心経一卷)
- ・(世界人類総親平等供養 心経一卷)

※非常事態宣言
自然災害、感染症のパンデミック、原子力事故などの災害や、戦争、テロ、内乱、騒乱など、健康・生命、財産・環境などに危険が差し迫っている有難に際し、国家・地域の状況ながら、法外に立ち寄りて特別な権限を発動するため、或いは、広く一般に公衆に注意を促すために、そのような事態を布告・宣言することである。(ウィキペディアより)

特別供養の作法(先月と同文)

会員各家の供養

- 「会員各家祖先代々の御精霊 並びに萬靈に礼拝」
- ・熾 悔文 一巻
- ・般若心経 一卷
- ・宝 号 七遍 礼拝

世界人類総親平等供養

- 「総親平等供養を修し奉る」
- ・熾 悔文 一巻
- ・般若心経 一卷
- ・宝 号 七遍 礼拝

コロナの三密
・密閉空間(密かいないと換気の悪い場)
・密集場所(不特定多数の人が集まる場)
・密接場面(手が届く距離での会話など)

北海道々南教区・教区大会

アイヌ民族へ感謝と慰霊の祈り

令和2年度の北海道々南教区大会が8月23日、今年7月に開業したウポポイ(国立民族共生象徴空間)にて執り行われた。

ウポポイは、世界民族との共生を目的に、北海道において最も身近なアイヌ民族との共生を図るために作られた施設であり、今回の教区大会はこの開業に合わせて計画された。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止により、教区役員はじめ各支部長夫妻の代表者のみの参加となった。

当日は晴天に恵まれる中、午前9時30分に札幌道場で拝礼行事を行った後、ウポポイ内にある、多くのアイヌ民族の人々の遺骨が納められている慰霊施設へ



向かった。

慰霊施設では、車康平道南教区長が誦読文を奏上し、全員で心経を念唱、アイヌ民族へ感謝と慰霊の祈りを捧げた。

続いて、同じくウポポイ内にある国立アイヌ民族博物館を見学、アイヌ民族の歴史と文化を学び、貴重な時間を過ごすことができた。



解脱金剛72年祭について

●日時：11月4日(水) 正午 ●場所：京都・御寺泉涌寺

本年の御年祭は、新型コロナウイルス感染防止対策のため以下の通りとなりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

●注意事項

- ▷事前に会員の参加人数を650人に制限させていただきます。
- ▷例年よりも行事内容を短縮して実施します。
- ※ 御陵、霊明殿への参拝は各自でお願い致します。

○直参・代参及びお給仕料の受付について

- ▷御寺泉涌寺への感謝金を除く全ての感謝金は、大門前に設置した受付にてお預かり致します。その際に、代参感謝分も含め、お供物をお渡し致します。
- ※ 解脱金剛宝塔では、感謝金の受付は行いません。
- ▷泉涌寺への感謝金は、霊明殿参拝の際にお捧げください。

○会場について

- ▷全て椅子席で自由席となります。
- ▷参加者は、事前に配布されるリボンを身につけてご参列ください。リボンのない方はご入場をお断りします。
- ▷入場受付開始は9時30分です。



- ▷受付は行事前に済ませてください。
- ▷お弁当・お土産など売店の出店はありません。
- ▷行事の前後には臨時送迎バス(乗車無料)を運行します。時間：10時～14時頃 / 区間：京都駅八条口～泉涌寺大門 ※智積院からの臨時送迎バスは運行しません。
- ▷当日は家用車の泉涌寺への乗り入れはできません。各自、駐車場の手配をお願い致します。
- ▷本年度解脱金剛宝塔内齋祀のご遺族は、11時30分までに仏殿脇広場(勤番詰所前)の「遺族受付」で受付を済ませてください。
- ※後日、解脱会HPにて当日の様子を動画配信する予定です。

お問い合わせ：解脱会総務部 TEL:03-3353-2191

第177回秋季大祭の注意事項

参加される方は、体調に十分留意してお出かけください。また、改めて以下のご協力をお願い申し上げます。

- 入場受付開始は、午前8時30分です。
- 参加される方は、お山の外周5ヵ所に設置されたいずれかの受付を必ず済ませてください。
- 受付では、リボン・マスクの確認、手の消毒、検温を実施します。受付後は、検温済のシールを貼付しますので、以降は受付せず再入場が可能となります。
- 次の方は入場できません。リボンのない方、マスクを着用していない方、体温が37.5度以上ある方
- 全席椅子席(パイプイス)
 - 椅子席のご利用は、午前8時30分より、入場受付を済ませた方からとなります。
 - 係の誘導に従ってご着席ください。
 - 教区ごとの区分けはありません。
 - 三密を避けるため椅子の移動はお止めください。
 - 大祭パンフレットと直参記念品は、各座席に置かれています。
 - ゴザ、貸し出し椅子のご利用はできません。



パソコンやスマートフォンで解脱会ホームページや大祭ライブ配信が観られます!



大祭などの行事や本会の新しい情報は、解脱会ホームページに掲載しています。まだ閲覧していない方は、今すぐにチェック!

QRコードリーダーアプリで右の画に合わせてね

<http://www.gedatsukai.org>

